**那覇港管理組合新庁舎等施設整備事業手法決定支援業務**

**仕様書**

# 業務の目的

　本業務は、「那覇港管理組合新庁舎等施設整備基本計画策定業務委託」の成果を踏まえ、PPP手法を採用した場合に従来手法に比べ財政負担軽減可能性があるかの検証のほか、PPP手法を採用することで財政負担軽減が認められる場合には、導入するPPP手法の確定及び、PPP事業の事業者募集選定のための条件整理等を行うことを目的とする。

# 業務期間

契約締結日の翌日から～令和７年３月31日

# 本業務実施する上の留意事項

（１）受託者は、基本方針・基本計画（案）を踏まえ、本組合の方針や意向を十分に理解し、関連する各分野における専門性の高い者を随時、適切に配置して本業務にあたるとともに、良質かつ安定的な支援を履行期間中、継続的に提供するものとする。

（２）受託者は、常に本組合の支援者としての立場で、本組合の利益を守ることを最大の任務と捉えて本業務を実施するとともに、契約期間中、本組合との高い信頼関係及び倫理性の保持を徹底すること。

（３）受託者は、今後の本事業に関連する事業者から、常時完全に独立する立場の維持を徹底すること。

（４）受託者は、本業務の実施にあたり、本事業に係る関係諸法令及び関連条例等の遵守を徹底すること。

（５）「那覇港管理組合新庁舎等施設整備基本計画策定業務委託」で整理された事業実施に向けた課題等を踏まえ、その解決・対応策の検討調査を行うこと。

# 業務内容

## 事業条件の整理

・基本方針・基本計画（案）において検討した事業条件を踏まえ、エリアのコンセプト「那覇港の歴史を生かし、人が集い、賑わう、ウォーターフロントエリアの創出を目指す」の実現に資する事業手法確定に向けて、分区の解除、明治橋駐車場用地の土地活用、新庁舎の配置等の課題ついて、解決・対応策の検討・整理等を行う。

## 事業手法確定に向けたサウンディング調査の実施支援

　　・事業条件の整理で検討した内容を踏まえ、事業実施に向けたサウンディング調査を実施するにあたり必要な支援を行う。特に提案される事業手法が、本組合の財政負担軽減につながるかを意識したサウンディングとすること。

①サウンディング実施要領の作成

②サウンディングの実施支援

③サウンディング結果の整理及び公表支援

## 財政負担縮減可能性の検討

・4.2のサウンディング調査の結果をうけ、基本計画で検討した財政負担縮減効果（VFM）をもとに、本組合が従来方式で新庁舎を整備した場合と、PPP事業により事業を実施した場合の財政負担を比較検討し、改めて財政負担縮減効果（VFM）を検証する。

## 庁内検討委員会及び同組合構成団体調整会議の実施支援（事業手法の確定支援）

　　・サウンディング調査の結果を踏まえ、本組合の財政負担軽減効果の評価・検証、那覇ふ頭地域の賑わい創出の可能性についてとりまとめ、PPP手法採用の適否の判断、PPP手法を採用する場合のスキームの確定を図るための庁内検討委員会を開催する。庁内検討委員会は数回（２回程度）の開催を予定する。

　　①資料の作成

　　②議事要旨の作成

　　③委員会における質疑回答支援

## 事業スケジュールの確定

　　・4.4の庁内検討委員会等を踏まえ、次年度以降の事業スケジュールの検討を行う。

## 事業実施に向けた課題及び対応策の検討

　　・事業実施に向けて課題となる事項について検討・整理を行い、その対応策を検討する。特に、アドバイザリー業務発注までに実施が必要な測量、地質調査、磁気探査等について整理を行う。

# 打ち合わせ協議

　　・初回及び納品時のほか、4回の打ち合わせを行う。ただし、業務上必要な場合は、web会議を含め必要回数の打ち合わせを行う。

# 成果品

　①報告書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　簡易製本　２部

　③電子データ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１部